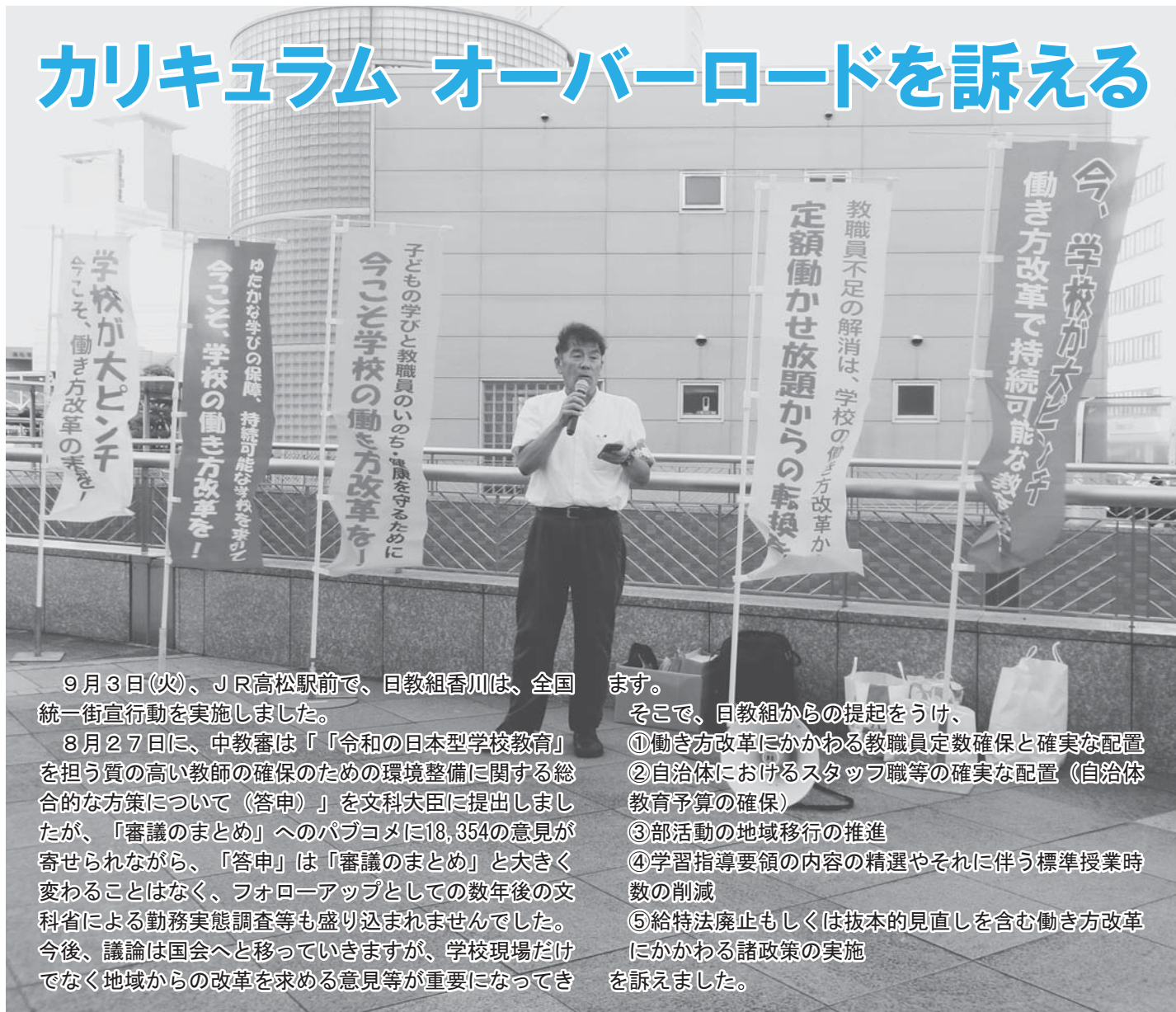


日教組香川 2024.10



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640
FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtukagawa@circus.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月1日発行

カリキュラム オーバーロードを訴える



9月3日(火)、JR高松駅前、日教組香川は、全国統一街宣行動を実施しました。

8月27日に、中教審は「『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(答申)」を文科大臣に提出しましたが、「審議のまとめ」へのパブコメに18,354の意見が寄せられながら、「答申」は「審議のまとめ」と大きく変わることはなく、フォローアップとしての数年後の文科省による勤務実態調査等も盛り込まれませんでした。今後、議論は国会へと移っていきますが、学校現場だけでなく地域からの改革を求める意見等が重要になってき

ます。

そこで、日教組からの提起をうけ、

- ①働き方改革にかかわる教職員定数確保と確実な配置
 - ②自治体におけるスタッフ職等の確実な配置(自治体教育予算の確保)
 - ③部活動の地域移行の推進
 - ④学習指導要領の内容の精選やそれに伴う標準授業時数の削減
 - ⑤給特法廃止もしくは抜本的見直しを含む働き方改革にかかわる諸政策の実施
- を訴えました。

香教組でもない、香教連でもない、高教組でもない 全国で一番なかまの多い日教組香川へ

日教組香川は、なりすまし団体「日教組香川三観地区教職員組合 執行委員長 片山元久」に対して、「日教組香川」の名称不使用の裁判を起こしました。まず、昨年11月21日、高松地裁で、なりすまし団体に対して「日教組香川」を含む名称を使ってはならないと判決がでました。その後、なりすまし団体は高松高裁に控訴しましたが、今年4月28日に、控訴は棄却されました。「日教組香川三観地区教職員組合」は全く日教組香川とは関係のない団体です。ご注意ください。



日教組香川教育研究集会2024

学習は集団で行うものである

9月28日(土)、ふらっと仏生山で、日教組香川県教育研究集会2024を開催しました。

午前中のレポート発表では、

- ・ICT活用による業務効率化・自動化<中村成吾(高・檀紙小)>
- ・現場からの実践報告～『花から実へ』の実践から～<岡本武史(高・浅野小)>
- ・小学校中学年における『割合』に関する指導<角友清志(さ・造田小)>の3本がありました。なお、共同研究者として、白井基さん(元教員)、石原清貴さん(元教員)が参加されました。

午後からの記念講演会では、今回の共同研究者であり、また、情宣「日教組香川」に「授業で使える小技や小ネタ」を連載している元教員の石原清貴さんから講演「割合なんて、こわくない」がありました。



司会者
沢池日教組香川書記長



共同研究者
白井基(左)、石原清貴(右)

レポート発表

■ ICT活用による業務効率化・自動化

中村成吾(高・檀紙小)



リポーターから

「高松市で学校事務職員は、教員の特殊勤務手当の支給要件を確認するために確認表を活用して共同実施で相互確認を行っており、この確認表を作成するにあたって、Te-Comp@ssから申請一覧をプリントアウトして確認表に手入力で作成を行っており多くの時間を費やしている。

そこで、VBAを組み、誰でもシステムを使いこなせるようにエクセルの様式内にボタンを設置し、マニュアルの作成も行った。記号反映の他に確認作業をする際の申請一覧にも、一目で支給要件の有無が確認できるように様々な工夫を行った。

その結果、30分から1時間程度掛かっていた作業が、5分から15

分程度まで短縮することができた。

しかし、まだ、

- ・週休日の振替等システム上必要なデータが出力できない。
 - ・同日2つ以上申請がある場合の手当支給の確実な記号判断ができない。
 - ・関連業務の判断ができない。
- の3つの課題が残っている。Te-Comp@ssシステムの根本的な改修を市へ要望している」

共同研究者から

「市町によって校務支援システムが違い、混乱が生じている。校長会では県内では統一した校務支援システムを求めているが、導入は難しいとのこと。校務支援システムの年度更新にも時間がかかり課題となっている。導入には、学校現場の話を聞いてほしい」

■現場からの実践報告～

『花から実へ』の実践から～

岡本武史(高・浅野小)



リポーターから

「『花から実へ』では、発表ノート上で、必要な絵カードを用意しておき、操作をしながら考えられるようにした。その結果、授業では発表ノートのグループワークを利用してグループごとに1つの発表ノートで「実験方法」を考える過程において「学び合い」ができた。さらにヒントを示したり、全体発表をしたりすることはGIGA端末と電子黒板を使えば適時有効に行うことができ、分かる・できる学びを実現する授業づくりにつながった。

そのほかの単元におけるICTの活用として「天気」では、日々の雲の様子を写真に記録し、衛星の雲画像と照らし合わせることで、天気予想がしやすくなった。「めだか」では、個別の顕微鏡にUSBカメラを取り付けタブレットにつなぐことで、ピントの合わせ方を確実にしたり、カメラですぐに顕微鏡画像を取り込んで詳細な受精卵の観察記録を作成したりできた」

共同研究者から

「リアルとバーチャル体験のクロスが今後の課題になってくるだろう。集団で学ぶことと、個別で学ぶことのバランスが大切になってくる。特

に社会性を育むための集団をどう担保するかが課題だ」「ICTでのデータ管理が課題だ。特に残す物と消す物の線引きをどうするか学校現場でのガイドラインをはっきりさせていくべきだろう」

■小学校中学年における『割合』に関する指導

角友清志（さ・造田小）



リポーターから

「人権教育の基本は「学びたい子どもから学びを奪わない」ということであると認識している。その上で、近年、不登校児童生徒の増加の要因の一つが授業時数や学習内容の増加が子どもたちの負担になり、反社会的行動から非社会的行動という傾向により、学校へ行かない、ということを選択する子どもが増えている、ということではないか。

今回の割合では、小学校のころから、割合についてのプロセスを理解せずに「やり方」としての「く・も・わ」を暗記するという学びをした子どもたちが大学生になって問題を解決できないという実態が指摘されている。

そこで、今回、導入では、原液を水で薄めることでの「倍」の比較の必要性を示すとともに、「にらめっこ図」を活用して2つの量関係を分かりやすくした。結果として、子どもたちは生活の中で、割合の必要性を感じたり、役立てたりするようになった」

共同研究者から

「ことばから割合の関係を理解させることは重要です。また、今回の導入のように具体物から興味関心を持たすこと重要です。高校生を卒

業しても希釈が分かっていない大人が多くいる現状です。あたらめて小学校での割合をきちっと抑えていく実践が大事です」

記念講演会

■「割合なんて、こわくない」

石原清貴（元教員）

「今、学校での教育内容、教科数、授業時間が増えている。異常事態である。小学校の算数は特に感じる。算数を教科書通りの授業では理解が深まらない。実物と用いて、実際に動かした考えていかななくてはならない。実物を操作して式にしていく、そんな算数の世界が失われているように感じる。

子どもたちに喜んでもらえる授業ができていいのか、常に振り返っていかなくてはならない。教師は、「分からない子を分からせてなんぼ」ではないだろうか。

本当に今、学習があまりの個別になりすぎている。本来、学習は、集団で行うものであり、そこに社会的行為が生まれる。そして、お互いの能力差を乗り越える方法を見つけ出していく集団が生まれてくる。



割合では、

- 1 操作の倍
- 2 関係の倍
- 3 分布の倍
- 4 複合問題

を丁寧に教えていくことが大切。

原理がわからなくても答えは出るかもしれない。しくみがわからなくても答えは出るかもしれない。しかし、それでは疑問をもたない子どもになる。大人になって、500円の3割引きの値段がわからない人が多くいます。金利が分からない、手数料が分からない。いろいろな業者に騙される場合も出てきます。

金融教育を含め、割合を含め、教師が教える責任、分かるように教えていく責任をぜひ考えてほしい」

（文責 鳴村）

石原清貴さんの授業書

「算数書案 割合」



ご希望の方は日教組香川まで

2024四国ブロック母と女性教職員の会 インクルーシブ教育をめざして

9月7日(土)、新居浜市で、2024年度 四国ブロック母と女性教職員の会が開催されました。今回は、石村和徳さんと石村嘉成さんから、演題「アーティスト石村嘉成のキセキ ～発達障がいのがわが子と歩んで～」の講演がありました。日教組香川から女性部長が参加しました。



石村嘉成さん(左)と、石村和徳さん

インクルーシブ教育を伝えよう

「嘉成はひとり暮らし、多くの人の助けなしに生きています。それは驚きです。だから、みんなから好かれるようにしてあげたい。」

石村和徳氏 石村嘉成氏 講演会

アーティスト石村嘉成のキセキ
～発達障がいのがわが子と歩んで～

9月7日(土)
新居浜市マリナーパーク オーシャンウインドホール
10:30~12:30 (意見交換などの交流を含む)

石村嘉成(いしむら よしなり)

1994年愛媛県新居浜市生まれ。2013年より自宅アトリエにて本格的な制作を開始し、国内外で数々の賞を受賞。現在は絵画や彫刻など多くの人の心に元気を届けています。2023年、愛媛県美術館で個展を開催し、地元作家の活躍を大きく取り上げました。

2歳で自閉症と診断された石村嘉成氏。母の愛に育ち、適切な療育によって、生活の自立を確立しています。父、石村和徳氏が、わが子と歩んで奮闘とともに、「適切な療育」の大切さ、いかにしてアーティスト石村嘉成が育ったのかを、お話しします。

全席で座席を確保予定。

申し込み方法
QRコードを読み取り、申し込みを完了します。2024年7月20日～
9月2日(先着70名まで)
事務局電話089-924-4546

主催 四国ブロック母と女性教職員の会、愛媛県美術館

石村嘉成さんの絵を見たことはありますか？
今回の四国ブロック母と女性教職

員の会では、自閉症の画家、石村嘉成さんとそのお父さんの石村和徳さんの講演会でした。石村さんの絵画はこれまでRSK山陽放送で特集や展覧会が組まれていたので知っていました。ただ、四国で愛媛県新居浜市の方とは講演会の案内を見るまで知りませんでした。

100名の会場が満席。一般の方が7割以上と地元での人気ぶりが伺えました。嘉成さんの発達に心配を抱いたのは1歳の時で、2歳半まで発達を相談しても「様子を見ましよう。」と言われたことに疑問を呈していました。「少しでも早く療育に繋がれたらその後の人生が変わる」との信念でした。親は「様子を見ましよう」と言われて安堵したり、問題を先延ばし事実を見なくなった

りする場合を多く見てきました。支援者として当たり障りのないことを言って責任を取らないのがいいのか、最悪の場合も示して少しでも可能性を探るのか、難しい決断だと思います。

現在行われている特別支援学級の児童生徒が交流学級で過ごす時間を制限される動きは予算を減らす動きとしか思えない、との意見が多く出ました。インクルーシブ教育が単なる理想にならないために、石村嘉成さんのように通常学級で過ごすために保護者が付き切りでいなくてもいいように、やはり定数改善や教育予算の増額がどうしても必要であるという結論に至りました。

(女性部長・高木由紀)



9.16さようなら原発全国集会 脱原発社会を求めて

9月16日(月・休)、東京・代々木公園で、「9.16さようなら原発全国集会」が開催されました。

2023年8月24日から始まった「ALPS処理水」の海洋放出は2024年7月までに、7回に分けて行われ、生態系への影響は未知数であり、様々な影響が危惧されます。

さらに、福島第一原発2号機で8月22日から始まる予定だった燃料デブリの試験的な取り出しは、手順に誤りがあったとして作業が中止・延期されました。これまでも、燃料デブリの試験的な取り出しは当初2

022年中に始める計画でしたが、取り出し装置の開発の遅れなどにより3回に渡り延期されていました。

現在、核燃料サイクル計画が事実上破綻している現実を直視し、「脱炭素社会」に向け原発に頼らず、再生可能エネルギー政策に転換すべきです。

日教組は、原水禁・平和フォーラムと連帯し、原子力政策の根本的転換、そして脱原発社会の実現をめざしています。

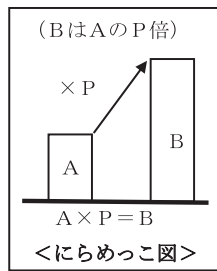
今回、日教組香川からも組合員が参加しました。

授業で使える小技や小ネタ⑤③(分かりやすい割合の解説(2))

石原清貴(元小学校教員)

・前回の話

前回、「割合は2つの量の大きさくらべであり、一方を1と見た時、他方がそのいくつ分(何倍)に相当するのかを言い表すこと」だというお話をしました。またこの2量の比較操作と倍関係をうまく表す事ができる図に「にらめっこ図」があるという事もお話しました。



最初に割合を表わす図について補足説明をしておきます。

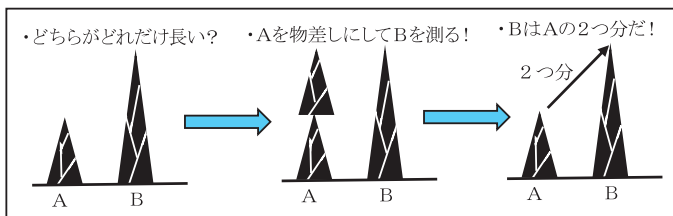
割合の仕組みや倍関係を表わす図はいろいろあります。啓林館では「横置き2重テープ図」を基本的な図としながら、「線分図」・「関係図」という多様な図が示されています。また、東京書籍がメインの図として採用している「2重数直線図」も取り入れています。おそらくこれは他の教科書会社との連携を考えたことなのでしょうが、割合の仕組みを説明するための図を4種類も取り上げるとするのは明らかにやり過ぎで、割合が分からなくなる原因の一つになっているように思います。

わたしは、割合の仕組みを量感覚ベースで組み立てる「にらめっこ図」が割合の図として最適だと思っています。現に全国各地で「にらめっこ図」はひっそりと実践され成果を収めています。

今回はこの「にらめっこ図を使った割合指導」の具体的な指導を書き起こしておきます。

・にらめっこ図を使った具体的な授業例

まず始めに2つの量(長さの異なる竹の子)を提示して、どちらが長い?どうやったら分かる?という問いかけをします。そうすると子どもたちは「並べたら分かる」と言います。そこで図のように子どもたちに竹の子の絵を並べてもらいます。ほとんどの子どもたちは二つの竹の子の絵を同じレベルにそろえて縦に並べます。こうするとどちらが長いのかは簡単に見つけられます。



次にどちらがどれだけ長い?という質問を投げかけます。すぐさま物差しで測れば良いという意見が出ます。がしかし、「そうだね。でも物差しがないときにはどうすればいい?」という質問を再度投げかけます。ここで、物差しのない世界で大きさの違いを表わす方法を考えてもらうのですが、意見が出ないときには「大きい方の竹の子Bは小さい方の竹の子Aのいくつ分ぐらいあるかな?」というヒントになる質問を出します。すぐさま子どもたちは「2つ分ぐらいかな?」と応えてくれます。そのあとで2つの竹の子の小さい方Aを物差しにして大

きい方Bがそのいくつ分なのかを調べさせます。

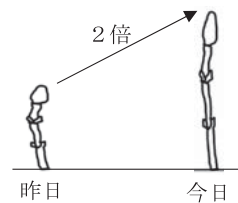
そうすると大きい竹の子Bが小さい竹の子Aの2つ分の大きさである事がわかります。その事実を確認した後「大きい竹の子は小さい竹の子の2つ分の大きさである事を算数では<2倍>の大きさであるという言い方をする」という風に教えます。



石原清貴氏

但し、この段階で2倍は×2という風には扱わないで、あくまでも<2倍は基にした量の2つ分のこと><3倍は基にした量の3つ分>という風におさえます。

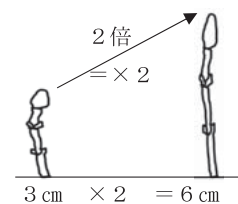
・倍の世界を体験しよう



次に、2倍・3倍する体験してもらいます。やり方は簡単で例えば「土筆が今日は昨日の2倍になったという設定で2倍に伸びた土筆の絵を描いてもらいます。

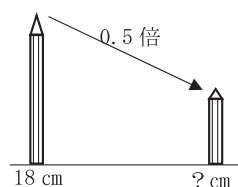
この段階では基本的に竹の子や土筆のような「縦倍」が扱える自然物を提示して高さを2倍3倍する操作をしてもらいます。また、輪ゴムや粘土を使って2倍3倍に伸ばす体験をすることも大切です。

・倍はかけ算



そして、2倍3倍の体験をした後で、「3cmの土筆が2倍に伸びた何cmになった?」という問題を出して2倍=×2である事を確認します。(当たり前的事だと思うかも知れませんが、倍はかけ算という事はきっちりおさえないといけません。)

・縮んでも倍



続けて、「縮んでも倍で表せる」事を知らせないといけません。ここでは身近な教材として鉛筆を取り上げます。

「始め18cmあった鉛筆が始めの0.5倍に縮みました。0.5倍の大きさになった鉛筆を描き、長さをもとめましょう。」という課題を出します。ここで次のような説明をします。「倍すると大きくなると思っている人もいます。しかし、小さくなる場合も倍で表すことがあります。この場合は0.5倍という風に小数倍で言い表します。18cmの0.5倍(18×0.5=9)は9cmとなります。」「倍は拡大する整数倍もあれば縮小する小数倍あるいは分数倍もある。」ということを教えます。

気持ちよく 安心して 働けていますか？

JTU-カフェ&電話相談会

人事異動
相談も
行います

Open → 10月17日(木)18:30~20:00

@ 日教組香川事務所(高松市中野町 15-24 佐藤ビル1F)

毎月1回【JTU-カフェ】をOpenしています！
飲み物とお菓子を用意してお待ちしております。ぜひお気軽にお越しくださいね。
組合員でない方も大歓迎です！ただし、お茶代500円いただきます。
引き続き電話・FAXでのご相談も引き続き承ります。
TEL: 0120-27-5925 FAX: 087-802-1642

パワハラ、セクハラ、マタハラ等、職場の人間関係で気になること
など、お気軽にご相談ください。相談には、日教組香川役員、臨床
心理士が対応させていただきます。



総合共済

月掛金900円

契約期間5年で、実質月掛金は500円になります

たとえばこんなとき、自転車で他人にケガを負わせてしまったら？

日常の生活で

「個人賠償責任補償」が
あなたとご家族を守ります

お子さまが
通学中に

「教職員賠償責任補償」が
あなたを守ります

家庭訪問
中に

総合共済は
「自転車保険」としても
ご利用いただけます！

総合共済なら、日常の賠償事故も
業務中の賠償事故も
最高3,000万円まで補償！

それ以外にも
役立つ補償が10種類
ついています！

※総合共済は、教職員共済の「総合共済」と、損害保険ジャパン株式会社の「傷害総合保険」「業務過誤賠償責任保険」を組み合わせたものです。
※この広告は概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。

承19-企-25(1910) SJNK19-08956(2019.11.01)

資料請求はこちらから
スマホからもカンタンです！



教職員共済

検索

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東四国事業所

〒760-0004 高松市西宝町2丁目6-40 香川県教育会館
電話 0120-27-8140 FAX 0800-200-2207

2026年度教員採用試験(2025年実施)対策講座 前期日程(10月~3月)

◆講座開講場所、内容、日程(予定)※変更する場合があります。最新日程はHPでご確認ください。

大川会場		高松会場		丸亀会場	
長尾公民館		ふらっと仏生山 (高松市仏生山交流センター)		マルタス (丸亀市市民交流活動センター)	
専門教養対策 ・集団面接対策 ・教育諸課題 ・TAC講座視聴 ・第1次試験直前対策 ・第2次試験直前対策 ・模擬授業等(各回の詳細はお問合せください)					
1	10/15(火) 19:00~21:00	1	10/26(土) 13:00~16:00	1	10/24(木) 19:00~21:00
2	11/19(火) 19:00~21:00	2	11/23(土) 13:00~16:00	2	11/28(木) 19:00~21:00
3	12/17(火) 19:00~21:00	3	12/28(土) 13:00~16:00	3	12/26(木) 19:00~21:00
4	1/21(火) 19:00~21:00	4	2/1(土) 13:00~16:00	4	1/23(木) 19:00~21:00
5	2/18(火) 19:00~21:00	5	3/1(土) 13:00~16:00	5	2/27(木) 19:00~21:00
6	3/18(火) 19:00~21:00	6	3/29(土) 13:00~16:00	6	3/27(木) 19:00~21:00

- ◆主催:日教組香川教職員組合(日教組香川)
- ◆講師:日教組香川組合員(現職教員、OB等)
資格の学校 TAC 講師(講座録画視聴)
- ◆対象:香川県の教員をめざす講師の方々
(臨時採用教職員、非常勤講師)等
- ◆定員:各会場10名程度
- ◆申込期限:随時受付、定員になりしだい受付終了
します。
- ◆受講要件:日教組香川組合員になっていただき
組合費を納入すると受講ができます。
組合費は、1000円/月です。加入月から納入し
てください。「給与天引き」もできます。
- ◆申込方法等詳細は、下記までご連絡を
電話 0120-275-925
090-7757-2706
メール jtukagawa@circus.ocn.ne.jp

「資格の学校 TAC」は、40年
以上蓄積した合格するための独
自メソッドを活用し、毎年多くの
合格者を輩出している資格取得
の専門予備校です。
3年前から、この TAC と日教
組がタッグを組み、教員採用試
験対策講座を開催します。日教
組香川では、この講座の配信を
録画し、講座で視聴します。な
お、TAC の教員採用対策では、
一番低額な講座で54,000円
(通常受講料・教材費・税込)と
なっています。(HP から)

**全国のなかまが
応援しています**

**全国のなかまと
合格しよう**

QRコードから申し込めます



2026年度教員採用試験(2025年実施) 対策講座受講生募集開始!!

2024年10月より、今年も県内3地区で開催

詳細はHPで

日程決定
(裏面参照)

	日時	場所
	前期(10~3月)	
大川会場	毎月第3火曜日	長尾公民館
	19:00~21:00	
高松会場	月1回土曜日	ふらっと仏生山 (高松市仏生山コミュニティセンター)
	13:00~16:00	
丸亀会場	毎月第4木曜日	マルタス (丸亀市市民交流活動センター)
	19:00~21:00	

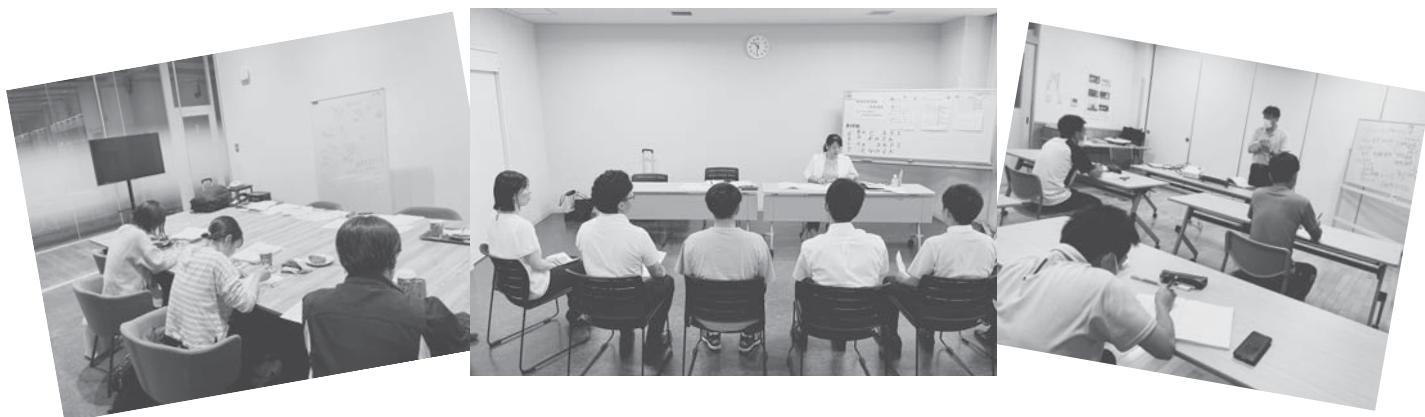


☆資格の学校TACのオンライン講座

☆経験豊かな現職&OB教員の講師による
面接指導や模擬授業対策

☆自習時間等での個別対応

受講者2次合格者6人 (小2人、中音2人、中体2人)



日教組香川はあなたの夢を実現するためのサポートをします。

お申し込み、お問い合わせは



または ☎ 0120-27-5925 まで